



2015年10月28日

各 位

会 社 名 東レ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 日覺 昭廣  
(コード番号 3402)  
問合せ先 広報室長 中山 喜昭  
(TEL (03) 3245-5178)

### 当社子会社（水道機工株式会社）の業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である水道機工株式会社が、2015年5月7日に公表した2016年3月期第2四半期累計期間（2015年4月1日～2015年9月30日）ならびに2016年3月期通期（2015年4月1日～2016年3月31日）の業績予想（連結・個別）を、別添資料のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、上記による当社の連結業績予想への影響は軽微であります。

以 上



平成27年10月28日

各 位

上場会社名 水道機工株式会社  
 代表者 代表取締役社長 角川 政信  
 (コード番号 6403)  
 問合せ先責任者 取締役管理部門担当 石井 克昌  
 (TEL 03-3426-2131)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,042	△367	△329	△196	△9.14
今回修正予想(B)	4,319	△414	△391	△152	△7.11
増減額(B-A)	△723	△47	△62	44	
増減率(%)	△14.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成27年3月期第2四半期)	4,667	△324	△292	△263	△12.26

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,503	1,200	1,283	789	36.79
今回修正予想(B)	16,503	1,200	1,283	1,110	51.76
増減額(B-A)	—	—	—	321	
増減率(%)	—	—	—	40.7	
(ご参考)前期実績(平成27年3月期)	15,873	1,155	1,251	738	34.42

平成28年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,282	△184	△91	△76	△3.54
今回修正予想(B)	3,195	△123	8	150	6.99
増減額(B-A)	△87	61	99	226	
増減率(%)	△2.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成27年3月期第2四半期)	3,349	△121	△29	△78	△3.66

平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,468	1,047	1,163	723	33.71
今回修正予想(B)	11,468	1,047	1,163	1,056	49.24
増減額(B-A)	—	—	—	333	
増減率(%)	—	—	—	46.1	
(ご参考)前期実績(平成27年3月期)	10,508	963	1,079	642	29.97

## 修正の理由

### 1. 第2四半期(累計)

売上高について、主力の上下水道事業において、一部工事の進捗が第3四半期以降へとズレ込んだことにより、連結・個別ともに前回発表の予想を下回る見込みです。

利益面につきましては、前述の要因による売上高の減少に伴い売上総利益が落ち込んだことから、連結営業利益、連結経常利益いずれも前回発表の予想を下回る見込みです。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益及び四半期純利益については、五洲富士化水工程有限公司(以下、五洲富士化水)持分譲渡手続き進捗に伴い繰延税金資産を計上したことにより、法人税等調整額が連結で1億7百万円、個別で1億10百万円減少したことから、前回発表の予想を上回る見込みです。

### 2. 通期

売上高、営業利益、経常利益につきましては、連結・個別ともに平成27年5月7日から修正はございません。なお、親会社株主に帰属する当期純利益及び当期純利益については、五洲富士化水持分譲渡の効力発生により関係会社出資金売却益として特別利益を第3四半期において計上することから、連結で3億21百万円、個別で3億33百万円それぞれ前回発表の予想を上回る見込みです。

(注)上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上